

# 流行しています 麻しん(はしか)に注意

高 有 有 強 有  
入院率 合併症 空気感染 感染力

## 無料で麻しん風しん混合ワクチン 予防接種を行います

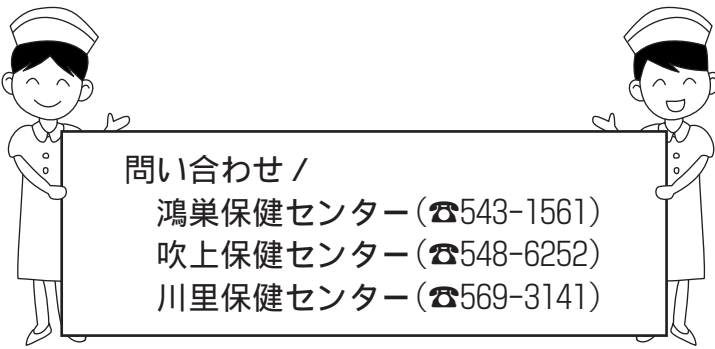
市では、今年「はしか」の流行がみられたことから、社団法人鴻巣市医師会の協力をいただき、今年度に限り麻しん風しん混合ワクチン予防接種を公費負担で行っています。  
対象者／市内在住の2歳児から5歳児(平成14年4月2日以降に生まれた方)と小学生及び中学生のうち麻しん(はしか)にかかったことがなく、

麻しんの予防接種(麻しん風しん混合ワクチンも含む)を受けたことがない方  
平成19年4月1日から6月30日の期間に、当事業の対象となる方で麻しん風しん混合ワクチンまたは麻しんワクチンの予防接種を自費で接種した方は、接種費用の一部を助成します。

## 麻しん(はしか)風しん混合ワクチン 予防接種を受けましょう

麻しん(はしか)は、非常に感染力が強く、患者との直接対面接触がなくても、同じ空間を共有することで感染する「空気感染」によって起こります。麻しんは合併症(肺炎、脳炎など)の発生や、入院率が高く、ワクチンによって予防することが最も重要な病気です。今年、5月頃から麻しんの流行がみられ、多くの方の感染が報告されました。

現在、定期の予防接種として次の年齢で接種を行っています。対象となる方は、早めの接種をお勧めします。  
第1期 1歳から2歳未満で1回接種 第2期 平成13年4月2日から平成14年4月1日生まれの方で平成20年3月31日までに1回接種  
接種期間が、第1期・第2期で異なりますのでご注意ください



問い合わせ /  
鴻巣保健センター (☎543-1561)  
吹上保健センター (☎548-6252)  
川里保健センター (☎569-3141)

## 爪白癬(爪水虫)



爪白癬 (つめはくせん)とは白癬菌というカビの仲間が爪の間に住みつき、ために起こる感染症です。多くは足白癬(水虫)を治療せずに放置したため、白癬菌が足の皮膚から爪の中に移るために起こります。

【治療】  
白癬の治療には抗真菌薬という薬が使われます。塗り薬と飲み薬がありますが、爪の場合は外用薬だけでは完治しない事が多いので内服薬を使用します。  
内服期間は3か月〜半年程度必要ですが、内服1年後には約8割の方が完治します。  
内服により副作用が起こる可能性があるため、定期的に血液検査をしながら使用する必要があります。

### 【症状】

爪が分厚くなる、白く濁るなどで、かゆみや痛みがないので、爪の異常に気づいても治療されずに放っておかれる場合が多く見られます。

### 【診断】

爪が濁っていたり、変形していたとしても、爪白癬とは限りません。湿疹病変、物理的障害、扁平苔癬などの皮膚病が原因の事も多く、診断するためには爪を少し削り、顕微鏡で白癬菌の存在を確認する検査が必要となります。

### 【予防と注意点】

通気性の悪い履物は出来るだけ避け、入浴・シャワーで清潔を保ちましょう。  
症状を悪化させたり、家族に移す前に、早めに治療していく事が大切です。



(社団法人鴻巣市医師会)